

HARLEM

SPIT'EM OUT!

December
1999

"It's absolutely RAW"

-This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real scene...

SPECIAL INTERVIEW

"DJ TAIKI"

page 01

EVENTS SCHEDULE

- December '99

RECOMMENDED EVENTS

- 1999...2000!!

Special Events Info

Lounge Angelo

- Information

Harlem Shutout

- Information

page 02

EVENT REPORT

- '99.10.29 Daddy's House Special

- '99.11.6 GERAID presents "club-G" version 2.0

- '99.11.22 COOLIVE presents "Digital Convenience #1"

DINNING ANGERO

- Information

CONTENTS OF DECEMBER 1999

ROCK THE CITY

- Free Graffiti Art Edited by Yas 5/UBG

DJ CLARK KENT

- Special Talk Session with DJ Hiro & DJ Masterkey

TALK BATTLE vol.2

- DJ Masterkey vs Akeomi Nitta

DISCS FILE

- Selected by HomeBass Records

COLUMN

-01 by Zeus

-02 by Riko

-03 by Masatora

SYOGYO-MUJO-NO-HIBIKI-ARI

- by Maki the Magic

"H" PEOPLES

- Snap Pics in 6th & 22th Nov.

SHOW

- Presented by Cancer

Mo' Info

Voice & Present

Guntez Records

- Complete The Guntez Records GUNCO-003

page 03

page 04

page 05

page 06

page 07

page 08

special Interview DJ TAIKI

HARLEM土曜日"NO DOUBT"でお馴染みDJ TAIKIが、彼にとってのHIP HOP、CLUB、DJ、それに関する自分自身のスタイルを率直に語ってくれた。この日はキエロマキュウのメンバーで友人でもあるCQ氏も駆けつけ、和やかな雰囲気の中、本音トークが繰り広げられました。このインタビューを読んだ後、「週末HARLEM」="NO DOUBT"="DJ TAIKI"を、もっと好きになっているアナタがそこに居ることでしょう…。

●HARLEM&NO DOUBTがSTARTして2年半ですが、なにか感じる「変化」はありますか?

すごい大きな変化はありましたよ。言葉では説明しにくいけど、環境的には3年位前まではHIP HOPのクラブで遊んでいる人達はHIP HOPが好きな人しか遊んでなかっただし、そういう人達はそういう人達で盛り上がって、ちょうど日本語のHIP HOPもすごい充実してきた時期で、BUDDHA BRANDが日本に帰ってきたり、MUROだったり、ライムスターだったり、キングギドラだったり、なんか日本語ラップのレベルがガーンってあがってきた頃、CAVEとかでDJしてたけど、そこではすごいHIP HOPが好きな人が集まって遊んでいるっていう感じだったんですよ。それがHARLEMが出来てから、そういう人も遊びにくるようになった。OPENしたての頃は、HIP HOPが好きな人ばかりだったけど、どんどんやっていくうちにそういう人達も巻き込めたっていうのが一番やってよかったことかなって感じます。普段HIP HOPにあまりふれてなかつた人達がHIP HOPにふれる機会を与えることが出来た店じゃないかなっていうのが一番すごいと思う。

●最近少しずつHIP HOPが浸透てきて、雑誌にもHIP HOPスタイルがお洒落だとか、ファッショ的な捉えられ方をされる時がありますよね。土曜日は特に他の曜日よりいわゆる一般化しているという声を聞きますが、その辺を意識されたことはありますか?

T:それは人の捉え方だと思うんですよ。例えば若い人達でも年取った人達でも物事に一つ入る為にはきっかけって必要じゃないですか。好きなになるためには何かきっかけがあって好きなになる訳じゃないですか。例えば町で今までチーマーだった人が、今HIP HOPが格好いい!みたいな感じでHIP HOPの格好をする、そこから始まる人もいると思うんですよね。そこから5年後には実はすごいいいラッパーになってる人もいると思うし、結局なんか、世の中の流れについてどうっていうのはあんまり考えてないんですよね。こうだから、町がこうなっちゃったからこうしなきゃいけないって、そういうことは全く思わないよね。ホントに好きな物に、ファッションで入った者がもっと追求して入り込めるような環境をどれだけつくれてあげられるかなって思う。よく俺ね、みんなが一般化したもののがダメだと、普通の人がいっぱいいるからダメだとか言うけど、全然気にしてないんですよ。逆にクラブをそんな自分たちだけの世界にしていいのかな、っていうのがまず一つあって、好きなヤツしか聞いたやいかな

いとか、そういう井の中の蛙じゃないけど、楽しんだよっていうのを広げるのがやってる人達にとても楽しいんじゃないかなって思う。

CQ(以下、C):流行ないと聞いてもくれないもんね。うち側の意見としては…。

T:うん、だからね、もっと一般化してもいいと思うんですよ。結局どれくらい一般化してるかっていうと実はその夜の世界とかクラブの世界だけで、セールス的に日本のHIP HOPのCDが売れてるかっていうとそうでもないと思うんですね。結局はやっぱり日本のポップスが一番売れてて、そこまでHIP HOPが大衆化してるかっていうとそうじゃない。ある意味もっと大衆化してOKなんじゃないかな。で、その人口が増えると、なんていうんだろう、ピラミッドじゃないけど下がちっちゃければ頂点も低くて、下が大きいと高いピラミッドが建てられるじゃないですか。(HIP HOPももっと大衆化すれば)そういうものになっていくくんじゃないかなって。

C:たって例えは演歌とか好きですか?って聞くと、キレイって答えるじゃん。でもHIP HOP好きですか?って聞くと、知らない一って答える人結構多いと思うよ。だから知った上で好き嫌いが言えるようだといいよね。

●HARLEMは今後、どうあるべきだと思いますか?

T:ある意味HARLEMが出来ることってもっと沢山あると思うし、ああいう大きい場所ではオープンにお客さんに接していく方がいいと思う。「いや、HIP HOPは俺達こういう人もだから」みたいな感じで終わっちゃうともつたないかなって。クラブってホントはすごいオープンな場所だし、一番広告出来る場所だと思うし、HIP HOPに対してアピール出来る場所だと思う。もともとはそういうみんなで遊ぶパーティからはじまっている場所なのに、気取ることもないし、例えば仕事帰りのスースきたサラリーマンの人が遊びに来ても俺はいいと思う。それをみんなスース着てるからバカにしたりとか、そういう風潮ってあるじゃないですか、クラブって。でもそれをいったら、昔のディスコに俺らがスニーカーで入れませんって言われたのと同じことだから。こういう壁をつくるのは良くないと思うんですね。なんかその、閉じこもった感覚でものを見たくないっていうのはある。

●HARLEMとしては閉ざしているつもりは全然なく、むしろオープンに楽しくやりましょうって感じですね。但し、ルールを守ってですけどね。ところで2000年の活動計画は?

T:既にいろいろプロジェクトみたいのは動いているんだけど、キレイマキュウにしてもううだし、CQのソロも



あるし、そういうのに俺も参加してトラックを提供したりとか、自分自身のプロジェクトもやりたいなって頭もあるし、あと新人ラッパーもやるし、結構やることはいろいろあるんですよ。キレイマキュウのライブDJをやっているのもあって、多分来年春ぐらいにはキレイマキュウのアルバムの計画もあるし、そういうのに何曲か使ってもらえるものもつくりたいし。

キレイマキュウの今後の予定は、今出ているシングルが結構好評で、いろんなお店で売りされてて、予定では1月位に次のシングルが出る。それも相当カッコイイですよ、自分で言うのもなんだけど(笑)、結構自信がある。あと1月末に出るライムスターのリミックスアルバムにもキレイマキュウ・リミックスがある、それも半端なくカッコイイので、みんなにチェックしてもらいたい。ライブ活動も、作品をこれからどんどん出す予定で、2ヶ月おきにシングル、GW頃には出来ればアルバムも出したいし、ツアーも今までライブ活動って精力的に行っていなかったので、その辺来年はちょっと派手目にやりたいなって思ってます。

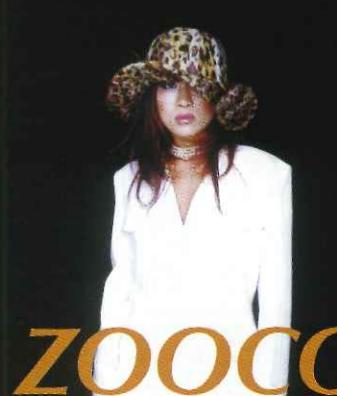
●最後に…

T:俺がいつも感じる事は、音楽知らなくて格好はHIP HOPだったり、ダンサーだったりする人がたくさんいるけど、例えば逆に凄いHIP HOP好きで、レコードとかいっぱい買ってるけど格好はそういう人もいると思うんですね。ある意味そういうものは俺の中でどうでもよくて、こだわりを持ってる人は持ってる人で専門的にこだわりを

続けていく人もいるだろうし、だからといってそういう人もその場でホントに楽しいと思える人達がそこへ来てくれる訳だから、それでいいと思うね。なんかね、俺、一般って言葉ってないと思うんだよね。すべてが平等だと思うんだ。クラブって別に誰が上とか下とかなくて、全てが一般であり、全てが特殊。だって夜あの時間に酒のんで、ヒャッて遊んでる事自体ちょっと狂ってるんだしみんな。(笑)

もっと自由に遊んで欲しいって感じ。例えば遊園地とかは、アトラクションがあるってそれにしたがって遊ぶ訳だけど、HARLEMとかクラブっていうのは、基本的に自分の遊びたいように遊べる場所だからそういう部分でもいい遊び場だと思う。みんなが一般であり、みんなが特殊。誰がどうっていうのはなくてみんなが平等なんだから、もっといろんな人に遊び来てもらいたい。今まで来たことない人でも、来てみればHARLEM土曜日のどこが楽しいのかって少しはわかってるよ。HIP HOPのどこが楽しいのかってわかんない人達でも、来てくれて見てくれれば、ああ、こういう所が楽しいんだっていうのをどこかで提供できると思う。

「誰々のDJ聞きに来たんだよね」とか「誰々最高!」っていう人もいると思うけど、なんかわかんないけど土曜日雰囲気好きなんだよね、選曲もその場の一つの雰囲気だから、そう言ってもらえるのが一番うれしい。土曜日HARLEM NO DOUBT、楽しいから来なさい!ってホントそんな感じ。



URL : <http://www.linkclub.or.jp/~fire-ton/>
1st solo mini album "Grow-Mellow-Flow" released on now!
new maxi single "Piece of dream" release on 19.Feb,2000!

new 12inch vinyl
release on 21.Jan,2000!

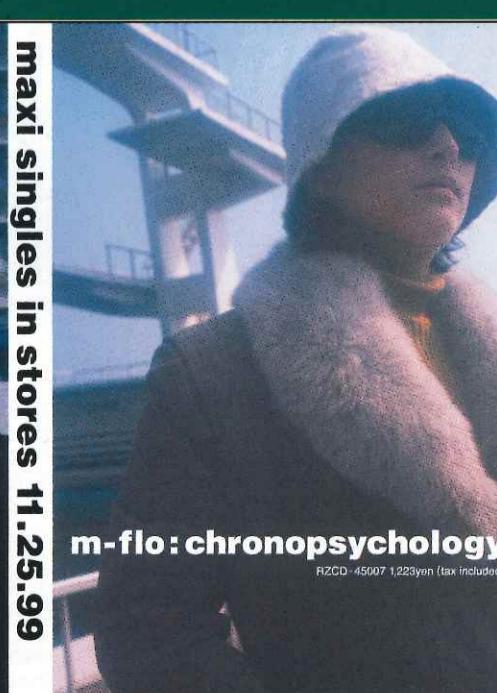
features appearance by THE BEATNUTS etc...

side A : 1. CRUSH ME ~featuring MACCHO(OZROSAURUS)~
2. 輝き出すもの(Drops from heaven) ~THE BEATNUTS Remix~
side B : 1. Piece of dream ~Original Mix~
2. CRUSH ME ~K-Muto Groovediggerz Remix~
TRIAD/HEAT WAVE distributed by CISCO INTERNATIONAL



m-flo:L.O.T.(Love Or Truth)

RZCD-45005 1,050yen (tax included)



m-flo:chronopsychology

RZCD-45007 1,220yen (tax included)

maxi singles in stores 11.25.99